

科目名 Course Name	医学概論 Outline of Medicine				ナンバリング No.	I1-007	
年次	1 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	和田 晴美						
連絡方法	C-Learning で対応。 または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修／選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	DP2, DP5						
授業の概要と 到達目標	この授業では、日頃何気なく営んでいる生活行動は、「からだ」がどのように機能してなされているかという点に着目する。まず人間の成長と発達から始まり、正常なからだの構造と機能を理解したうえで、生活障害に繋がる疾病や障害、さらに公衆衛生の概要について学ぶ。 ①人の成長と発達の段階と特徴を、説明できるようにする。 ②人体を構成する臓器の名称、構造、機能を説明できるようにする。 ③からだの構造や機能と、日常生活行動の関連を説明できるようにする。 ④疾病と障害の原因、症状、回復過程(障害は留意事項や対応方法)を列挙できるようにする。						
授業の方法	講義中心であるが、人体構造の理解を深めるために系統別に人体解剖図の作製を行う。作業を通して臓器の形や役割の理解を促す。						
学習成果	L01						
	L02	人の成長と発達、老化の過程や人体の構造と機能の概要を説明することができる。					
	L03	疾病や障害の概要をふまえ、対応時の留意点を明確にすることができる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	人体構造と機能の授業の際には、初めからだに関するクイズを出題し、授業内でクイズの解答がわかるように進める。						
教科書／ 参考図書	①最新・社会福祉士・精神保健福祉士養成講座 1 医学概論 中央法規出版 ②坂井建雄著 ぜんぶわかる人体解剖図 成美堂出版						
履修上の留意点 やルール等	この科目は「社会福祉士国家試験」受験における必修科目である。また、社会福祉主事任用資格の該当科目でもある。講義には積極的に参加することを望む。欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準						
評価の領域	評価基準	学習成果の割合				
		L01	L02	L03	L04	
授業参加態度	評価基準 S は、授業への準備（テキスト、ノート等）をし、授業中必要なことはノートにとり、積極的に参加していること。		10			
レポート／作品	「人体の構造」について、骨格図や、消化器の全体図、腎・泌尿器系の図などを授業内で作る。各構造を理解し、名称や役割を記載して提出すること。評価基準 S は、課題をよく理解し、名称や働きを調べ整理して記載できている。期限を厳守して提出している。		10			
発表			10			
小テスト	第 9 回目に知識の確認のため小テストを実施する。		10	10		
試験	授業の振り返り、知識習得の確認のために試験を行う。問題は文章の正誤を判断するものや、語群からの選択問題、穴埋め問題等。		10	40		
その他						
合 計			50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスにそって授業概要、授業の目標と学習の成果、評価方法等の説明) ライフステージにおける心身の変化と健康課題 人の成長と発達①
	事前・事後学習	自分の出生時の身長と体重、1歳までの発達を親に聞きノートに記載する。
2	授業内容	ライフステージにおける心身の変化と健康課題 人の成長と発達② 加齢・老化 健康課題
	事前・事後学習	発達課題(エリクソン)の各期をノートに転記し、自分に当てはめて考え記載する。
3	授業内容	健康及び疾病の捉え方 健康の概念、疾病の概念、ICF
	事前・事後学習	自分自身の健康管理の課題について考えノートにまとめる。
4	授業内容	身体構造と心身機能① 人体各部の名称(筋、骨、関節)
	事前・事後学習	骨の名称、筋肉の名称について授業内で作製した図に名称や働きを記載する。
5	授業内容	身体構造と心身機能② 動く 体内の循環
	事前・事後学習	心臓の構造、体循環・肺循環の図をノートに転記する。
6	授業内容	身体構造と心身機能③ からだを守る 息をする
	事前・事後学習	呼吸器の予習をする。
7	授業内容	身体構造と心身機能④ 食べる トイレに行く
	事前・事後学習	消化器、腎・泌尿器の予習をする。
8	授業内容	身体構造と心身機能⑤ 見る・聞く・感じる 考える ホルモン調整とストレス
	事前・事後学習	次回の小テストに向けて準備する。
9	授業内容	疾病と障害の成り立ち及び回復過程① 悪性新生物 脳神経系 循環器系疾患 【身体構造と心身機能に関する小テスト、解答・解説】
	事前・事後学習	疾患の特徴と補足事項をノートに整理して記載する。
10	授業内容	疾病と障害の成り立ち及び回復過程② 内分泌系 呼吸器系 消化器系疾患
	事前・事後学習	疾患の特徴と補足事項をノートに整理して記載する。
11	授業内容	疾病と障害の成り立ち及び回復過程③ 血液系 腎・泌尿器系 骨・関節系疾患
	事前・事後学習	疾患の特徴と補足事項をノートに整理して記載する。
12	授業内容	疾病と障害の成り立ち及び回復過程④ 感覚器系 感染症 神経系疾患と難病 先天性疾患
	事前・事後学習	疾患の特徴と補足事項をノートに整理して記載する。
13	授業内容	疾病と障害の成り立ち及び回復過程⑤ 障害の概要 肢体不自由 内部障害 知的障害
	事前・事後学習	疾患の特徴と補足事項をノートに整理して記載する。
14	授業内容	疾病と障害の成り立ち及び回復過程⑥ 障害の概要 発達障害 認知症 精神障害
	事前・事後学習	疾患の特徴と補足事項をノートに整理して記載する。
15	授業内容	公衆衛生 国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方 授業のまとめ
	事前・事後学習	試験準備。